

# 未来まちづくりニュース

柏ビレジ自治会  
未来まちづくり部・柏ビレジ  
グランドデザイン推進プロジェクト  
〒277-0815 千葉県柏市大字1311-48

8



2022年11月の実証実験時に柏ビレジの住宅街を走行する「コミュニティバス」第1便

## TOPICS

- 会長メッセージ
- 「コミュニティバス」準備状況のご報告
- 「実証実験」を振り返って
- 今後に向けて
- 特集号 コミュニティバス実証実験＆アンケート報告

### 会長メッセージ

まちづくりの核

柏ビレジ自治会長 シュピンドラー 千恵子



皆様、こんにちは。2022年度も余すところ1ヶ月となりました。今期も事業計画のとおりグランドデザインの3つの優先課題に、関係者一同、粉骨碎身に取り組んできた進捗をご報告申し上げます。

◆**24時間介護看護サービス**の導入については、関係部署や柏市との協議を重ねているものの、我が国の介護士・看護士不足の事情と、自治体全体の高齢化で多くのニーズがあることから、思いのほか時間を要している状況です。諦めずに中長期的に継続して推進します。

◆**水辺公園リニューアル**については、永年手が加えられず安全面で問題となっている箇所から着手しました。フェンスの経年劣化や遊歩道の老朽化対策を優先し、フェンスの修繕、有刺鉄線の撤去、遊歩道の水溜まり対策、美観のみならず防犯上の課題でもある見通しの悪い植栽の剪定等を行いました。

また、永年頭を痛めていた夏場に水面を覆うアオコ発生問題は、柏市とともにモニタリングを継続し改善方法を検討した結果、地下水ポンプを水量調整し再稼働を行うことで大幅に水質改善され、ビオトープがとてもきれいに蘇りました。この美しい自然環境を維持できるようになったので、転落防止のために一時閉鎖しているビオトープの木道に手摺を設置し、木道リニューアルが実現します。これから工事に入り、安全できれいなビオトープに生まれ変わります。春にはきっと素敵な散歩道となると思いますので楽しみにしてください。



安全で美しく生まれ変わるビオトープ

この水辺公園リニューアルは、2022年(令和4年)度4月に公表されている柏市都市整備計画の一部であり、2026年(令和8年)度までの5ヵ年計画中、最初に着手したものです。柏市に、これらに係る相当な予算とご支援をいただいております。ここに改めて感謝申し上げます。

◆**コミュニティバス運行**については、本紙に各タスクチームによるさまざまな活動報告や別紙アンケートをご一読ください。11月に実施した実証実験では、全世代の皆様のニーズを知るために、考えられるニーズを想定した路線を3本用意し、朝7時台の通勤通学者向けから、日中の買い物娯楽目的までを満たすバスルートを設け、限りあるバス1台で実験的に運行しました。そして自治会員限定なので、自治会員であることを確認するため販売場所を自治会館に限定しました。告知する期間がとれず、認知度が十分でなかったこと、1ヵ月間だけの実験的運行だったこと、タイミングが合わない、販売場所が限定的だったこと、等の理由から乗車される方が少なかったことは残念でしたが、未来まちづくりの実証実験として、それなりの結果を得ることができました。交通不便解消問題は10年以上前から検討していた課題で、この度初めての試みが実施できたことは大きな一歩でした。ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。4月の本格運行を目指していましたが、課題解決に更なる時間を要しますので、延期とさせていただきます。

アンケートに基づき、ニーズの限定やルート・運行時間等の見直しをし、柏市との交渉を継続して、持続可能な運行を目指して参ります。柏ビレジは生誕40年を超え、次の世代に受け継がれるまちであることが、全ての世代にとって幸福だと私は思います。月並みな言葉ですが、柏ビレジに今必要なのは「挑戦と努力」。引き続き温かいご支援のほどよろしくお願ひいたします。

## ■ コミュニティバスの準備状況①～タスクチームからの報告(運行準備チーム)

便利なまちづくり

運行準備チーム・リーダー 寺田 雅年  
 (タスクメンバー: 佐藤 宗弘・高橋 秀彰・松本 彰・宮崎 泰雄・米原 文明)

## ◆交通分科会タスクメンバーに参画して

運行準備チームのタスクメンバー6名は、昨年8月に運行ルート案／バス停案／時刻表案等が固まったのを受けてバス停名称やバス停表示看板のデザイン決定、運行ルート図の作成(時刻表、バス停詳細を含む)を担当。11月の実証実験に向け、バス停候補の近隣のご自宅(20軒)及び駐車場所有の2軒の方にバス停設置並びに看板設置のお願いに訪問しました。



煉瓦塀に設置されたバス停看板

その結果、8軒のご自宅の壁等に看板設置の了承をいただき、また駐車場所有の方々や柏市公園緑地課の了承を得て、合計16カ所にバス停看板を設置することができました。バス停看板の設置に快くご協力いただきました伊藤 英子様、岡 八重子様、北浦 慶子様、高橋 秀彰様、田村 英明様、長岡 篤様、西野 博志様、山本 和実様(50音順、ビレジ在住)並びに、染谷駐車場様、松丸駐車場様、柏市公園緑地課様に、あらためて御礼申し上げます。

おかげさまで、柏ビレジ初の実証実験を無事に終えることができましたが、ご利用者様から「バス停看板が小さいので、もう少し大きくてほしい」、「表示位置が低い」、看板が片側しか表示されていない等により「バス停が分かりにくい」等々のご意見・ご提案等を頂戴しております。今後、本格運行が実現した暁には運行準備チームメンバー全員でご利用者様のご期待に応えるべく、更に改善・努力して参りたいと思います。

最後に、現在多くの方々が、通勤・通学のため駅までの移動や買物・通院等の移動に自家用車を使用しておられるため、コミュニティバス導入の優先度が決して高くありませんが、今後3年後、5年後には車の運転ができなくなる方が確実に増えます。また、東武バスが更に減便になる恐れもあります。その時に慌てなくとも済むよう今からコミュニティバスの導入に向けて、皆様のご理解とご協力を頂戴できれば幸いです。

## ■ コミュニティバスの準備状況②～タスクチームからの報告(配布資料準備チーム)

便利なまちづくり

## ◆配布資料の準備に力を合わせて

配布資料準備チーム・リーダー 高柳 キミエ  
 (タスクメンバー: 岡田 小央里・藏 武紘・柴田 豊)



回数券購入者に配布された「ご利用ガイド」

「配布資料準備チーム」では、実証実験に向けて、「運行準備チーム」で作成された運行コース、バス停、時刻表をもとに、実際にコミュニティバスを利用される方々に向け、必要な印刷物等を企画・制作しました。具体的には、「バスの乗り方」「運行路線図」「時刻表」「ご利用にあたってのQ&A」「お役立ち情報」などを掲載した「ご利用ガイド」の他、大人用・子ども用の「回数券」や「柏ビレジ内バス停マップ」などを用意しました。更に「回数券」を購入されなかった方々のために、できるだけ情報共有いただけるように、時刻表を含むご利用ガイドの情報を自治会のLINE登録者(約1,200名以上)の皆様に発信しました。

今回、実施したアンケート結果では、配布資料全般について79% (Web83%) の方々にご満足いただきましたが、一方で「内容的には良いが、(多少コストはかかるものの)全戸配布した方がよいのでは」、「運行ルート図や時刻表などが少し小さくて分かりにくい」などのご指摘もいただきました。今回、実証実験(2022年11月)に向け、当チームでは約1ヵ月半で各種配布資料の企画・デザイン・印刷・配布まで行った関係で、まだまだ改善の余地が残されていることが分かりましたので、今後に向けての課題とさせていただきます。

なお、昨年10月に近隣公園で開催した「柏ビレジ・オクトーバーフェスト」の会場でコミュニティバスのPR活動の一環として特設コーナーを設け回数券の販売を行いました。その席で、柏ビレジ在住の方ではない複数のご家族から「是非、私たち近隣の者にもこのコミュニティバスを使わせていただきたい！」との強いご要望をいただいたことが、とても印象深く思い出される、との体験談がタスクメンバーから寄せられました。

今回の実証実験を通して、各種配布資料をできるだけ公平に、より分かりやすく、タイムリーに住民の皆様にご提供する大切さを改めて認識するとともに、コミュニティバスも柏ビレジの住民とともに、交通アクセスにお困りの近隣の方々に対しても、地域の足として広くご利用いただくことができれば、と心から願っています。

## ■ コミュニティバスの準備状況③～タスクチームからの報告（運行準事業者チーム）

便利なまちづくり

運行事業者チーム・リーダー 榎 陽介（アピコ西武観光株式会社 代表取締役）  
 （タスクメンバー：アピコ西武観光株式会社 角谷 昭彦）

## ◆ 安心安全な運行をモットーに

私どもアピコ西武観光は、このタスクチームの準備段階から参加をさせていただき、柏ビレジのコミュニティバスを運行させるにあたりどのような準備が必要か、コースやバス停の設置場所などを皆様と一緒に考えてまいりました。それと同時に安心安全な運行を目指しながら、どのようにしたら皆様にご乗車いただけるかなどもタスクチーム全体と一緒に考えてまいりました。昨年6月に運行ルートのバス停の位置などを全体で話し合いをさせていただいた時に、チームのメンバーが活発に柏ビレジの住民の皆様のために熱い熱い話し合いをした時のことが印象に残っており、皆様の真剣さが伝わってまいりました。



ドライバーの評価が高かった  
実証実験でのコミュニティバス

8月にはコミュニティバスの運行ルート・バス停・時刻表等の案が出来上がったのを機に、実際に運行で使用するバスを走らせながら担当ドライバーとルートの確認・バス停の場所の安全性、時間を測りながら所要時間が適正かどうか、特に柏の葉キャンパス駅までの時間やルートの渋滞等の確認をして準備してまいりました。乗車に関し回数券利用ということになり、ドライバーには回数券の受け取り方などを指導し、準備いたしました。11月1日から1ヶ月間実証実験として運行をさせていただきましたが、私共も何らかの形で協力をさせていただくために、ご乗車いただきました皆様のデータを取り、どの時間帯に、どこのバス停から何人乗られたかなど細かく1ヶ月間のデータを収集し、1週間ごとにタスクチームに報告いたしました。

運行しながらも問題点があれば修正してまいりました。1ヶ月間の運行も事故も無く無事に終わりましたがいろいろな問題点が出ておりその部分を埋めていき、柏ビレジの皆様のご期待に応えられますように、より良い、より安全安心な、そして柏ビレジのコミュニティバスのファンが多くなりますよう運行に努めてまいります。今後とも、よろしくお願ひ申し上げます。

## ■ コミュニティバスの準備状況④～タスクチームからの報告（自治会チーム）

便利なまちづくり

自治会チーム・リーダー シュピンドラー 千恵子  
 （タスクメンバー：森田 幸次・横堀 正枝・村松 貴子・大野 達雄）

## ◆ 「住み続けられるまちづくり」を目指して



自治会チームは「未来まちづくり部」を中心に、柏ビレジ全体の課題解決を目的に活動する組織「未来まちづくり協議会」（2018年1月設立）と連携しながら、年々深刻化しつつある柏ビレジの交通課題に取り組んでいます。当協議会は柏ビレジ自治会・未来まちづくり部のコーディネーションにより、自治会傘下の諸団体、ビレジサポート新樹会、はなみずき、建築・緑地協定委員会、子ども会や自治会役員などのメンバーによって構成され、SDGs（持続可能な開発目標）の達成目標の一つ「住み続けられるまちづくり」を目指し、活動しています。現在、進めている「交通分科会タスク」は、この「未来まちづくり協議会」において交通対策だけに特化した組織として活動しており、昨年のタスクチーム発足から早や1年が経過しました。

当タスクは、過去に実施したアンケート結果などをもとに、柏ビレジの交通課題の洗い出しから基本方針の策定、スケジュールや予算案の作成、PR、組織体制の整備・運営、毎月実施している定例会議の運営、行政やバス会社との連絡・交渉、等々、が主な活動内容です。

数回にわたる住民アンケート調査結果から「コミュニティバス」の運行実現を目標に設定したものの、各地の事例を調べてもほとんどが行政主導によるコミュニティバスの運行であり、一自治会レベルで「コミュニティバス」（マイクロバス）を運行する例は見つけるのが難しい状況です。そのため運行事業者であるアピコ西武観光（株）様によるアドバイスをいただきながら、計17名のタスクメンバーの協力により、ほぼ「白紙」の状態から地道な準備を経て、昨年11月の実証実験によく運行することができました。そのため、まだまだ不完全なところがありますが、高齢化が進展する柏ビレジにとって「住み続けられるまちづくり」を実現する上で、避けては通れない大きな挑戦ですので、引き続き、住民の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

## ■ コミュニティバス実証実験を振り返って

便利なまちづくり

未来まちづくり部・柏ビレジグランドデザイン推進プロジェクト・リーダー

交通タスク・リーダー 大野 達雄

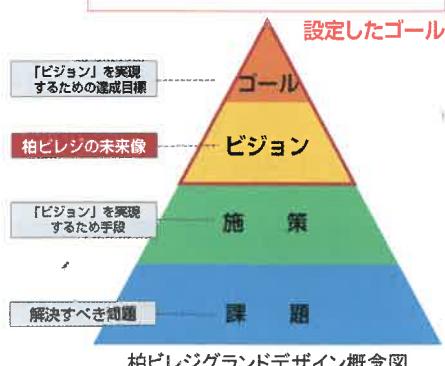
### ◆ 実証実験の結果と反省点

柏ビレジ初のコミュニティバスの「実証実験(試験運行)」は、昨年11月1日～30日までの平日1カ月間、柏ビレジ自治会員の皆様を対象に実施しました。この実験は過去10年以上もの間、公共交通空白不便地域を抱える柏ビレジ最大の課題の一つ「交通アクセスの改善」に向けて実施したものです。

結果的に、回数券の販売が206枚(大人用204枚、子ども用2枚。売上40万円弱)にとどまったことで、さまざまご批判をいただきました。こうしたご批判は、自治会やビレジのことを思うが故のご発言と考えますし、当然のことながらプロジェクトリーダーの責任であることは申し上げるまでもありません。しかし、実証実験は、来るべき本格運行に向けた問題点や課題などを洗い出すための重要な一歩であり、今回の実証実験の見直しはもちろん、アンケート調査を通して取り組むべき課題などが、より明確になったと考えています。コスト削減策や助成金を含む収支の見直しをはじめ、運行ルート、時刻表、運行本数、乗車券の種類や販売方法、バス停の位置や利用者層の見直しなど、さまざまな課題解決に向け、この1月から再びタスクチーム全員で取り組んでいます。

### ◆ 柏ビレジ グランドデザイン(GD:中長期の全体構想)の目的

- ①コミュニティバス運行の実現
- ②24時間介護看護サービスの導入
- ③水辺公園リニューアル



現在、自治会では、シュピンドラー会長の下、柏ビレジGDプロジェクトを推進していますが、これは、「世代の垣根を超えたやさしいまちづくり」のビジョンの下、柏ビレジが抱える交通・福祉・環境・子育て・若い世代の誘致など数多くの課題を解決することを目的にしています。そして、現在、そのゴールに設定しているのが、「コミュニティバス運行の実現」や「24時間介護看護サービスの導入」と「水辺公園リニューアル」です。こうしたゴールの達成を視野に、GDの最終的な目的を「柏ビレジの(資産)価値を高めること」と位置付けており、その評価項目として、柏ビレジの土地価格や満足度などを設定しています。

柏ビレジは非常に恵まれた住/自然環境にありながら土地の価格は年々下落傾向にあります。その要因の一つに最寄り駅からのアクセスの悪さがあります。街に関する統計資料でも「住みたい街を選ぶ際の

重視点\*」の第1位が「交通の便が良い」となっています。また、柏ビレジが過去に東京大学や筑波大学と協同で実施した各種アンケート調査結果でも、「交通アクセスの改善」が柏ビレジにおける課題の上位を占めました。

(\*出典:マクロミル社が2011年に2,000人を対象に実施した調査結果)

### ◆ 柏ビレジをもっと魅力的なまちに

もちろん、コミュニティバスの運行が実現しても土地の価格が即上昇するとは限りませんが、柏ビレジの魅力度をアップさせることで、少なくとも今までの下降傾向を低減させる効果は期待できるのでは、と考えています。自治会が取り組んでいる交通アクセスの改善等、課題解決への努力を地道に継続していくことで、柏ビレジがより魅力的なまちになっていくもの信じています。柏ビレジのグランドデザインは、住民の皆様が「世代の垣根を超えたやさしいまちづくり」に、ご一緒にご参画・ご協力いただいて初めて実現するものと考えています。引き続き、自治会の取り組みに、ご理解とご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## ■ 今後に向けて

便利なまちづくり

未来まちづくり部 部長 横堀 正枝

今回のアンケート調査結果を受けて、未来まちづくり部では、本格運行に向けて、大幅な見直しを予定しています。具体的には、東武バスと競合するルートの見直しや、より利便性の高い運行時間など、運行サービスの全面的な見直しを行いたいと考えています。コミュニティバス導入を検討している背景には、免許証を返納したくとも、日々の生活のために自家用車を手放せない方々が、少なからずいらっしゃる現状があります。大きな事故が発生する前に自家用車以外による交通システムの充実を検討することが急務だと考えます。

今後、未来まちづくり部では、交通分科会タスクチームの協力の下、コミュニティバスの運行実現に向けて、運行コースや運行時間などの具体案とともにコスト削減策をまとめ、5月の総会で皆様にご提示させていただく予定です。未来まちづくり部では、公共交通機関の衰退→地域コミュニティの衰退→地域の活力の減退という負のループを生じさせないために、更なる工夫と対策を検討していきたいと思います。

今後とも皆様の温かいご理解とご協力をいただけますようよろしくお願ひいたします。

## 特集号 コミュニティバスの実証実験と柏ビレジ住民アンケート結果報告



柏ビレジ内を走行する実証実験時の「コミュニティバス」

■ 柏ビレジの交通アクセスの課題を解決するため、2020年に「柏ビレジ交通アクセスアンケート調査」を実施しました（回答率63.8%）。その結果、予約型相乗りタクシーの利用希望者（約21%）に対し、コミュニティバス利用希望者が全体の56%に上りました。自治会では、その結果を受けて、「コミュニティバス」の運行実現に向けてタスクチームを編成し、検討準備を重ね、2022年11月に1ヵ月間の「実証実験」を実施しました。当号では、その実証実験の結果報告と、その後に引き続き実施した「コミュニティバス住民アンケート調査結果」についてご報告いたします。

### ■ コミュニティバス実証実験レポート

#### 概要

1,492世帯への配布に対し、608件の回答（40.8%）でした。Webを含む全体の回答者は「女性」約55%、「男性」約45%であり、年代別では、「70代」の回答者が約51%と最も多く、次いで「60代」（約21%）、「80代」（約13%）となり、この3世代で全体の約85%を占めました。また、就業・就学状況では、「専業主夫・主婦」の割合が全体で約38%と最も多く、次いで、「就労していない」（約33%）、「有職（自宅外）」（約21%）という結果でした。なお、回答者の内、実証実験に参加された方は全体で計111名（Web回答者87名の内の16名を含む）でした。

#### 支部別回答数と回答率

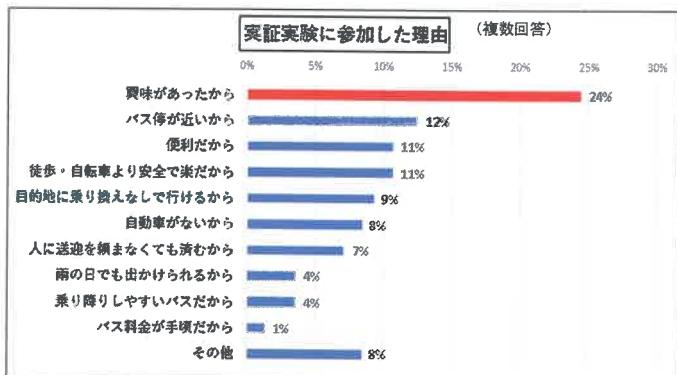
「支部別」の回答数を比較すると、全体の回答率は平均で35%でしたが、第10支部は44%の回答率であり、関心の高さがうかがえました。



（※実戸数は2022年11月末時点のデータを使用/計1,492）

#### 実証実験に参加した理由

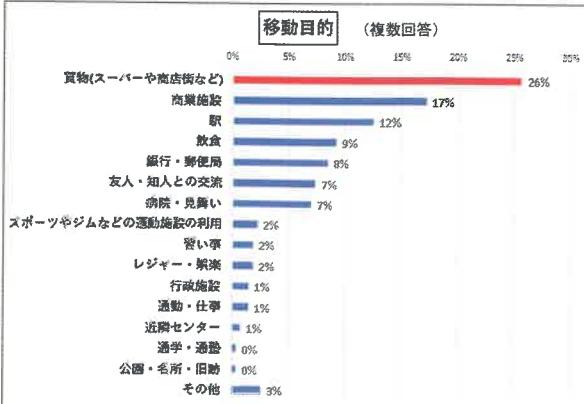
「参加した理由」では、「興味があったから」が複数回答の第1位を占め24%でした。（※Web回答者も「興味があったから」が第1位でした）



#### 移動目的

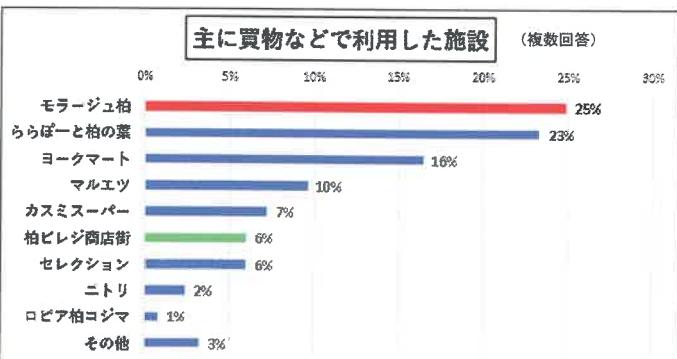
「移動目的」では、「買物」（26%）が最も多く、次いで「商業施設」（17%）、「駅」（12%）という結果でした。（※Web回答者は、「駅」「商業施設」「買物」がほぼ同率でした）

なお、第2位の「商業施設」も「買物」に含めると、「移動目的」の総合第1位は、「買物」目的が全体の4割強を占めたことになります。



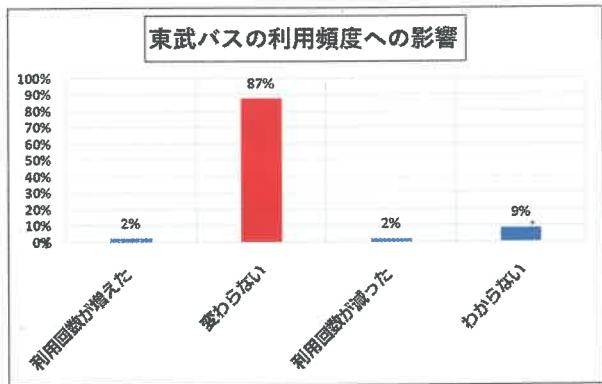
#### 主に買物等に利用した施設

「モラージュ柏」（25%）が最も多く、「ららぽーと柏の葉」（23%）が第2位でした。（※Web回答者も同一順位）なお、「柏ビレジ商店街」が「カスミ」や「セレクション」と同様に利用された点も注目されます。今後、「乗り放題バス」の使用が予定されていますので、手軽にアクセスできる利便性の点から、身近な場所で買物ができる柏ビレジ商店街での買物利用者が増えることが期待されます。



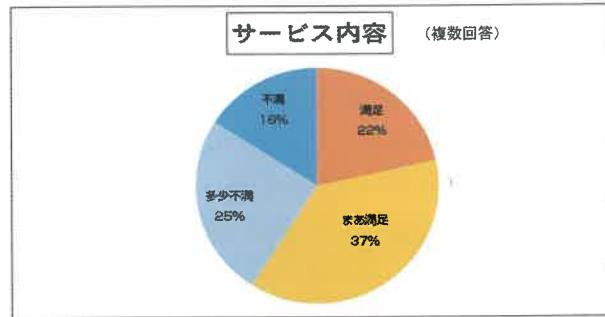
## ■ コミュニティバス住民アンケート調査結果②～データ編

### 東武バス利用頻度への影響



■「東武バス利用頻度への影響」がどのような結果になるか、関心を持って見守りましたが、集計結果では、「変わらない」(87%) (※Webは81%)が最も多い結果となりました。実証実験を実施するにあたり「幹」の役割を担っていただいている東武バスに対して、今回のコミュニティバスは、いわば「枝」のように、東武バスを補完する位置づけで住宅内をカバーし、地域に根ざした住民の足となればと考えていました。それだけに、(1ヵ月間の短いデータとはいえ)自治会として、少し安堵しました。今後もそのような基本方針の下、東武バスとの共存共栄を図っていきたいと考えています。

### 実証実験のサービス内容

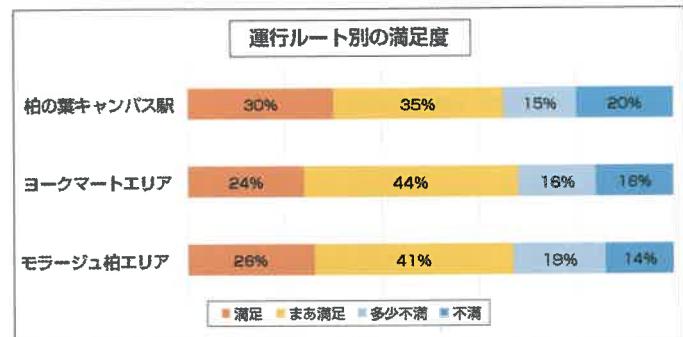


■今回の実証実験のサービス内容全般については、「満足」(22%)「まあ満足」(37%)と、59%の方が満足されたようです。(※Webは全体で72%が満足)

一方、「不満」「多少不満」と答えた方の割合は、全体の約4割にのぼりました。

不満の要因には、「運行ルート」「運行日」「運行時間」「乗車券(含む、回数券)」「バス停」「訴求対象」「PR」などの他、収支の問題もあり、運行実現に向けてはクリアすべき課題がまだまだあるようです。自治会としては、引き続き、課題解決に取り組んでいきます。

### 運行ルート別の満足度

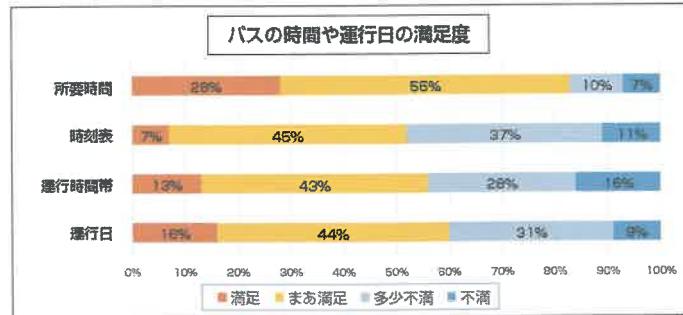


■運行ルート別の満足度では、行き先を問わず、各運行ルートともいずれも60%を超える満足度でした。(※Webでは、各ルートとも70%台の満足度)

一方で、運行がビレジ内的主要エリアをほぼカバーするルートを走行するため、目的地まで時間を要したり、1台のバスを3ルートで運用する関係で、時間帯が思うように組めなかった点なども課題として挙げられました。

また、東武バスがコロナ感染症の影響により、一時的に大幅な減便が為された時に時刻表を設定したため、元通りの時刻表に戻った時に東武バスの時刻表と一部かぶっているなどのご指摘なども「不満」に影響した要因だったと思われます。

### バスの時間や運行日の満足度



■「バスの所要時間」の満足度では(83%) (※Webは94%)と高い評価をいただきました。最長30分程度という比較的短い所要時間が評価されたようです。

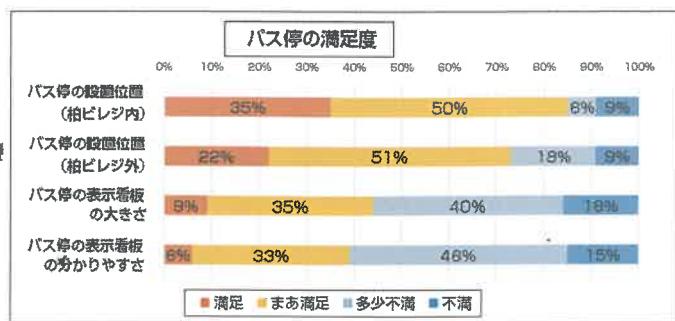
■「バスの時刻表」では、ほぼ半数が「満足」(※Webは71%)されました。利便性の課題が残りました。

■「バスの運行時間帯」での満足度評価は56% (※Webは69%)でしたが、特に買物時の時間設定などが課題として挙げられました。

■「バスの運行日」については60% (※Webは56%)の評価をいただきました。不満と評価された方からは「土日も含めてほしい」という要望もいただきました。

## ■ コミュニティバス住民アンケート調査結果③～データ編

### バス停の満足度

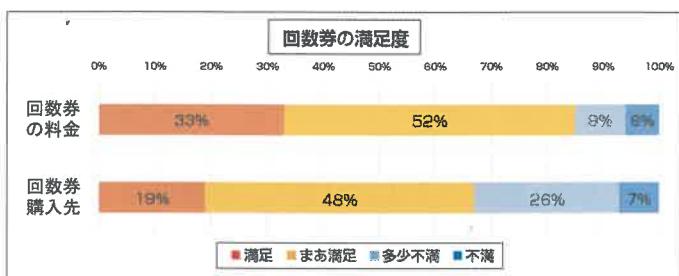


■ 柏ビレジ内の「バス停」については、全体で85%の満足度（※Webでは89%）をいただきましたが、これもタスクチームの頑張りとバス停設置にご協力いただいた住民の皆様のおかげと感謝しています。

■ 一方、ビレジ外のバス停には、規制等があるため一切柏ビレジ専用の看板や時刻表などが設置できませんでした。今後は事前に利用者の皆様に写真等でご案内することも検討していきたいと考えています。

■ 「バス停の表示看板」では、約40%ほどの評価（※Webでは70%台の満足度）でしたので、今後の課題として取り組んでいきます。

### 回数券の満足度



■ 「回数券の料金」では、「満足＋まあ満足」が（85%）と高い評価をいただきました。（※Webでは94%の満足度）

■ コミュニティバスにおける運賃（回数券料金など）の基本的なガイドは、「同じ場所を走る路線バスの料金程度とする」が推奨されていますので、回数券については、大人1セット2,000円（1枚200円×11枚綴り：@約182円）とさせていただきました。なお、未使用的回数券の扱いについては、後日、ご案内の予定です。

■ 「回数券購入先」については、今回自治会事務局の協力の下、「オクトーバーフェスト」の会場（柏ビレジ近隣公園）でも販売しましたが、やはり、お仕事等の関係で自治会館に行くことが難しい方がいらっしゃいますので、今後は販売方法を見直す予定です。

### バスの運転、配布資料、PRなど

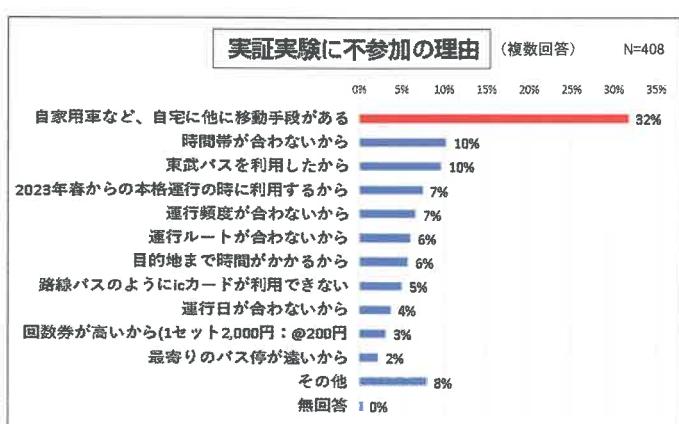


■ 「バスの運転・案内」では、91%と大変高い評価をいただきました。（※Web回答者は100%の評価）また、運転は丁寧で案内もわかりやすく、とても安全運転であった、との評価をいただきました。

■ 「配布資料」については、全体で79%の満足度（※Web回答者は83%）でした。初めて作成するものばかりでしたが、できるだけコストを抑えるためタスクメンバーの協力を得て、印刷費以外のデザイン費などの外注費を大幅に削減しました。

■ 「プロモーション」も83%と評価をいただきましたが、今後、課題点などを改善していきたいと思います。

### 実証実験に不参加の理由



■ 「実証実験に不参加の理由」では複数回答ながら32%の方々が、「自家用車など自宅に他に移動手段がある」から、と回答。（※Web回答者も同じ理由が第1位）これは柏ビレジ住民の90%以上の方が自宅に自家用車をお持ちの状況ですので、ある意味やむを得ないことと思われます。

■ 一方で、第2位の「時間帯が合わない」、第5位の「運行頻度が合わない」などは、今後、見直しを図ることで改善できるものと考えています。

## ■ コミュニティバスアンケート結果～コメント編

### ■ 主なコメント(抜粋)

#### ■ 運行ルート・バス停・時刻表・PRなどについて

- ・目的地によっては大回りしなければ到着しないので逆周りコースがあれば利用しやすいと思う。
- ・あまり多くのルートを運用するよりも、同じルートの回数を増やした方が、帰りの便を利用できると思う。
- ・運行ルート、乗り場、帰りのバス時間等が分かりづらい。回数券を購入しないと時刻表がなかった。
- ・1時間にほぼ1本という現実の厳しさを解消するために、現行の発車時刻以外の時間での運行を希望したい。
- ・時刻表のLINE通知など、実行に向けてまた、考慮をお願いしたい。
- ・バス乗り場に、時刻が書いていないので利用しづらい。もう少し目立つように乗り場を設定してほしい。
- ・停車間隔をもっと短くすれば、利用しやすいと思う。
- ・実証実験の内容が周知徹底されていないため、利用者が少なかったのでは?と危惧する。
- ・回覧板にて、もっと詳しい利用の仕方などをもう一度配布してほしい。(各家庭用に)
- ・買物のついでに購入できるので、回数券は(柏ビレジ)商店街のお店のいずれかで売ってほしい。
- ・回数券は購入したが、曜日 月・水・金のルートと火・木ルートでの時間帯を合わせるなどが難しかった。
- ・(バス停名)近くに住んでいる者だが、バスが時間調整のためか家の前に停車していることが多く迷惑だった。発車する際のピーという音も耳ざわりだった。
- ・本数は少なくなったとはいえ、東武バスの存在はとても大きいと思う。東武バスのビジネスに影響を与えない範囲で、コミュニティバスの運行を検討してほしい。
- ・(無理かとは思うが)東武バスの本数を増やすことを考えた方が良い。時期尚早ではないか。
- ・コミュニティバスはコストとのバランスで決まると思われるため、まずは、柏ビレジの住民にとって「必要最小限のアクセス」を確保することを優先してはどうか。

#### ■ コスト・課題など

- ・実証実験までこぎつけた尽力には敬意は表するものの構想には無理があるのではと思う。
- ・恐らく、今後高齢化が進んでも、全体として利用者は限定され、事業としては、持続性は無いと思う。
- ・本当に必要とされる方に必要とあれば、自治体と協議が必要であり、維持費等を考えると、一自治会が運営すべき課題ではないと思う。
- ・コミュニティバス運行を実施する、または実施しない線引きを示してもらいたい。
- ・利用人数や回数等、どの程度の利用があれば費用対効果が得られるものなのかを明確に提示してほしい。

#### ■ 今後必要・期待

- ・現在は自家用車を使用しているが、将来的にはコミュニティバスを使用したいと思っている。(多数)
- ・ビレジ内をコミュニティバスが走る実証実験が始まると聞いて、ほっとした。いつか陸の孤島になってしまうのでは、ということはずっと昔から心配だった。
- ・現時点で困っている方も多数いると思うし、自分達のためにも今のうちから未来ある街づくりについて考えてくれることに感謝する。
- ・引っ越しして来てから一年が経った。柏ビレジはとても住みやすい地域だと思う。働き世代を増やすには交通の便を良くすることが第一。駅近ではないが足があれば柏ビレジを選択する方も増えるはず。東武バスも本数が少ないため、現状とても不便だが、コミュニティバスで補うことが出来たらとても良いと思う。
- ・すばらしい環境でありながら柏ビレジの唯一の泣きどころとも言える公共交通によるアクセスの悪さを改善してくれるコミュニティバスに大いに期待している。
- ・素晴らしいチャレンジだと思う 実現に向けてのハードルは高いと思うが、課題を克服して、本実施になることを願っている。